

「ひらく」とは…私たち民主党会派の行動目標である、「開かれた」県議会の実現、そして、秋田の未来を「切り拓く」という想いを込めました。

お ば ら ま さ て る 小原 正晃 ごあいさつ



▲総合防災対策調査特別委員会にて

今議会の主な取り組み報告

農林水産委員会～雪害対策への対応～

今年1月からの大雪は、横手地方で観測史上最大の雪害となりました。家屋やハウス、そして果樹被害など、農業被害額で43億円。そのうち、横手地域が28億円と秋田県全体の被害額の半分以上を占めています。

大震災の影響で大分印象が薄れてしまった感がありますが、ここで大きな声を上げていかなければ、果樹そしてハウス栽培の大産地であるこの横手地域で農業を継続することが出来なくなります。



▲雪解け後のぶどう畑（十文字地区）

助成金や苗の保障を含め、単年度ではなく、5～10年スパンで対応出来るような仕組みづくりを強く求めました。

この度の大震災で被災されました皆様、そして関係者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

私、小原まさてるは、先の選挙において、無名の新人でありながら、多くの皆様からご支援をいただき、県政の場で仕事をする機会を与えていただきました。

これからの4年間、自然や農業といった＜今あるもの＞を活かしながら、なんとしても「雇用を作りたい」と思っております。

そのためには、ただ議会の場で議論をするだけでなく、**【秋田の営業マン】として秋田を売り込み、雇用やビジネスに繋げていきたいと思っています。**まずは、農林水産委員会に所属し、＜売れる農業＞づくりに取り組んでいきます。

皆様のご指導、これからもよろしくお願い申し上げます。



▲4月10日、喜びの中で

総合防災対策調査特別委員会

今回の震災を踏まえ、秋田県でも新しく委員会が設置されました。地震・津波はもちろん、この横手地域に甚大は被害をもたらした豪雪・豪雨、更には放射線など、様々な災害に対して取り組んでいきたいと考え、この特別委員会にも所属することとしました。

県民の命と暮らしを守るため、全力で取り組んでいきたいと思っております。



▲様々な視察を行い、現場を調査



ご覧ください!!

ホームページ <http://www.obaramasateru.jp>

小原のHPが出来ました。日々の活動報告や、裏話、「ここだけの話」をどんどん更新しています。

HIRAKU

県議会 民主党会派報告

vol.01

平成23年夏号

「ひらく」とは…私たち民主党会派の行動目標である、「開かれた」県議会の実現、そして、秋田の未来を「切り拓く」という想いを込めました。



民主党会派

3人で始動

大館市選挙区 虻川 信一 (66)

「建設交通」

秋田市選挙区 沼谷 純 (38)

「産業労働」、「議会運営」

横手市選挙区 小原 正晃 (34)

「農林水産」、「総合防災対策」

※氏名の下欄は、それぞれが所属する委員会。

会派の代表には沼谷氏が就任しました。全員が新人ですが、産業振興や地域の活性化のために、「行動する議員」を目指して全力で取り組んでまいります。

5月臨時会にて

議員報酬25%カットを提案

3月に起きた大震災。私たちの暮らすこの秋田も、大変な経済的な打撃を受けました。私たち民主党会派は、「議員報酬をカットし、秋田の復興財源に充てるべき」と主張し、報酬カットで年間約1億円を生み出すことを提案しました。しかし、残念ながらこの提案は自民党をはじめ反対多数で否決され、4月の選挙前と同じ、5%カットが継続されることとなりました。



▲25%カットの賛成起立

6月定例会にて

議員の賛否公開を実現

これまでは、予算案などに対して、誰が賛成し、反対したのか、県民の皆さまに公開されていませんでした。私たち民主党会派は、県議会の情報公開を徹底的に進めるべきとの立場から、この賛否の全面公開を提案し、6月定例会から早速実現することになりました。

